

衆議院議長 様
参議院議長 様

原発ゼロをただちに決断することを求めます

〔請願趣旨〕

東電福島第一原発事故はいまだ収束せず、被害は拡大しつづけています。政府が実施した国民の意見募集（パブリックコメント）でも8割が「即時原発ゼロ」を選んでいました。

ところが、安倍内閣は発足早々、まともな議論もないままに原発の再稼働、新增設をすすめていく姿勢を明らかにしています。背景に、2030年代原発ゼロや温暖化ガス削減などでの「民主党政権の目標」をなしにすることを求める財界の圧力があります。

さらに原子力規制委員会のすすめる原発敷地内の調査でも、活断層があることが否定できないとの結論に達しているなか、これまでの原発推進政策の反省もないまま、原発の再稼働、新增設をすすめることは許されません。こうした動きに、多くの女性・国民は粘り強く「ただちに原発ゼロ」の声と行動をあげ続けています。

日本ではすでに使用済み核燃料が2万4000トンにもものぼり、各原発の貯蔵プールは数年で満杯になります。使用済み核燃料を安全に処理する方法は世界中どこにもありません。しかも、巨大地震の発生や原発敷地内の活断層地震の予測が相次いでいる日本で、ふたたび原発事故が起きれば、とりかえしのつかない事態となります。

政府は国民の声を真剣に受けとめ、原発ゼロをただちに決断し、省エネ、節電、再生可能エネルギーへの本格的対策をとり、すべての原発の廃炉へ、高度な技術と人材の投入による長期間にわたる一大国家事業をすすめることこそ必要です。

以下、つよく要請いたします。

〔請願項目〕

- 1、政府は、すべての原発からの撤退＝原発ゼロをただちに決断すること

名 前	住 所

2013・1



新日本婦人の会

東京都文京区小石川 5-10-20